

令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果
国立大学法人旭川医科大学

1 全体評価

旭川医科大学は、地域医療を担う人材の育成を設置の原点とし、教育・研究・医療・社会貢献等の更なる発展を目指している。第3期中期目標期間においては、グローバルな視点を持ち国際社会でも活躍できる医療人の養成、基礎研究を臨床応用・実用化につなげイノベーション創出を果たすための研究環境整備と研究成果の社会還元、学長のリーダーシップの下での安定した財務基盤の構築を主な目標としているほか、他機関との産学官連携や医療機能連携の推進・強化、外国人の受入れや国外への情報発信の推進、高度急性期医療と先進医療の両立、多職種協働による質の高い医療提供体制の構築等を基本的な目標に掲げている。

この目標の達成に向け、学長のリーダーシップの下、「高次脳機能に関する研究」において国内外を問わず他機関との共同研究を積極的に推進するとともに、教育研究推進センター及び臨床研究支援センターが連携し、研究支援体制の強化を図るなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

2 項目別評価

<評価結果の概況>

	特 筆	一定の 注目事項	順 調	おおむね 順調	遅れ	重大な 改善事項
(1) 業務運営の改善及び効率化			○			
(2) 財務内容の改善			○			
(3) 自己点検・評価及び情報提供			○			
(4) その他業務運営			○			

I. 業務運営・財務内容等の状況

(1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

①組織運営の改善 ②教育研究組織の見直し ③事務等の効率化・合理化

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載10事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

(2) 財務内容の改善に関する目標

①外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加 ②経費の抑制 ③資産の運用管理の改善

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載7事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

(3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

①評価の充実 ②情報公開や情報発信等の推進

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載2事項全てが「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

(4) その他業務運営に関する重要目標

①施設整備・活用等 ②安全管理 ③法令遵守等

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載6事項全てが「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

Ⅱ. 教育研究等の質の向上の状況

令和元年度の実績のうち、下記の事項について注目される。

○ 医育統合センターの設置

入学者選抜から学部教育、卒後臨床研修に至る教育指導に係る連携強化を目的として入学センター、教育センター、卒後臨床研修センター及び専門医育成・管理センターの機能を有機的に結合することを使命とする医育統合センターを平成31年4月に新設し、令和元年5月に専任教授を配置している。

附属病院関係

(教育・研究面)

○ 卒後臨床研修センターの環境整備を通じた初期臨床研修の充実

研修医の勤務環境整備に向けて、研修医室の拡張や座席、ロッカーの増設等の環境整備を行うとともに、学生へのアンケート調査を行うなどし、募集定員の調整枠獲得に努め、地域枠学生を含むプログラム希望者の定員を確保している。これら整備充実の結果、自大学出身者数は国立大学では最多の56名（令和元年度）となっている。

(診療面)

○ 国際医療への対応

令和元年9月には、外国人患者受入れに適した医療機関として受入体制や取組を評価する「ジャパン インターナショナル ホスピタルズ」による認定を取得し、外国人患者受入体制整備を推進している。

(運営面)

○ 病院版BCPの策定

平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震の経験を踏まえ、病院版BCP（事業継続計画）を策定するとともに、地域の3病院（旭川赤十字病院、名寄市立総合病院、社会福祉法人北海道社会事業協会富良野病院）と合同で道北地区DMAT合同訓練（机上訓練）を実施するなど、災害医療に対応できるよう取組を進めている。